

石川啄木没後百年記念◎第7回全国高校生短歌大会

短歌甲子園 2012

東日本大震災 復興応援短歌集Ⅱ

全国高校生短歌大会実行委員会編

— 啄木の愛したふるさと、その復興に願いをこめて —

東日本大震災復興応援短歌集発刊にあたって

全国高校生短歌大会実行委員会会長

(盛岡市長) 谷藤 裕明

東日本大震災で被災された皆様からお見舞いを申し上げます。

全国高校生短歌大会（短歌甲子園）は、歌人・石川啄木を顕彰し、また、若い世代の短歌づくりを振興するため、平成18年に啄木生誕一二〇周年を記念して始められたものです。以後、毎年啄木のふるさとである岩手県盛岡市で開催されており、全国各地から高校生が集い、瑞々しい感性を競い合う場になっております。

今年度、第7回全国高校生短歌大会（短歌甲子園2016）を開催するにあたり、昨年度に引き続き予選作品とは別に東日本大震災からの復興を応援する短歌を募集したところ、全国43校一七六名の生徒の皆さんから応募をいただきました。この作品を、被災地の方々をはじめ全国にお届けしたいと考え、この歌集を編纂いたしましたので、お読みいただいて、復興に向けて共に歩んでいくという思いを感じていただければと思います。

おわりに、短歌を投稿してくださった生徒の皆さんに深く感謝申し上げます。

〈北海道〉	市立函館高等学校	8
〈秋田県〉	秋田県立秋田高等学校	9
	秋田県立秋田西高等学校	10
	秋田県立横手高等学校	12
	秋田県立能代高等学校	13
〈岩手県〉	岩手県立盛岡第一高等学校	15
	岩手県立盛岡第二高等学校	15
	岩手県立盛岡第三高等学校	17
	岩手県立盛岡第四高等学校	19
	岩手県立盛岡工業高等学校	21
	岩手県立沼宮内高等学校	22
	岩手県立花巻南高等学校	23
	岩手県立北上翔南高校	24
	岩手県立水沢商業高等学校	24
〈宮城県〉	宮城県宮城第一高等学校	25
	宮城県名取高等学校	26
	仙台白百合学園高等学校	28
	宮城県涌谷高等学校	29
	宮城県小牛田農林高等学校	30
	宮城県石巻高等学校	33
〈山形県〉	山形市立商業高等学校	34
	山形県立長井高等学校	35
〈福島県〉	福島県立葵高等学校	37
〈茨城県〉	茨城県立下館第一高等学校	38
	茨城県立結城第二高等学校	39
	茨城県立竹園高等学校	40
	水戸葵陵高等学校	42
〈栃木県〉	矢板中央高等学校	43
〈群馬県〉	群馬県立館林高等学校	44
	群馬県立太田高等学校	45
〈埼玉県〉	盈進学園 東野高等学校	46
	大宮開成中学・高等学校	48
	聖望学園高等学校	50
	星野高等学校	51
〈神奈川県〉	横浜高等学校	52
〈山梨県〉	山梨県立甲府南高等学校	53

〈福井県〉	福井県立武生高等学校	54
〈岐阜県〉	岐阜県立飛騨神岡高等学校	55
〈三重県〉	鈴鹿工業高等専門学校	56
〈大阪府〉	大阪府立槻の木高等学校	58
〈広島県〉	広島県立油木高等学校	60
〈愛媛県〉	愛媛県立伊予高等学校	62
〈福岡県〉	福岡県立須恵高等学校	63
	福岡県立筑紫丘高等学校	64

〈北海道〉

鯨くじらから届とどいた白紙はくしのラブレター
目隠めかくし猫ねこと

ボイスレコーダー

市立函館高等学校 ● 澤田佳音

雲くも隠かくし通とおせんぼする
コンクリこんくりに何なん度も挑いどみ
芝桜しばざくら咲さく

市立函館高等学校 ● 竹橋千尋

鉄てつの棒ぼう
むき出だし力ちから込こめながら
寂さびしさ覆おおう声こゑ戻もどり待まつ

市立函館高等学校 ● 春菜孝明

〈秋田県〉

あの揺ゆれはすでに
わたしに組くみみ込ままれ
これからずつとわたしの一部

秋田県立秋田高等学校 ● 小野実咲

名なも知しらぬ誰たれかが
とけていったこの日の青空を
両手りょうてにつつむ

秋田県立秋田高等学校 ● 奈良茉莉子

失うったものはあまりに多おほいけど
生きて
この空そら押おめるのなら

秋田県立秋田高等学校 ● 三浦沙由里

一人また
新聞端で眠る名に反比例した
笑顔をお願い

秋田県立秋田高等学校 ● 布谷みずき

まっさらに戻った
大地に新芽萌え
次は僕らで色を添えよう

秋田県立秋田高等学校 ● 渋谷 咲

私からもう言わないよ
「頑張れ」とだから
「一緒に頑張っていこう」

秋田県立秋田高等学校 ● 菅原有希

薄れても
残されたもの ひとカケラ
少しずつでも集めませんか？

秋田県立秋田高等学校 ● 佐々木緋奈

世界中みんな
手を取り輪になれば
笑顔の花は東北に咲く

秋田県立秋田高等学校 ● 伊藤千紘

カラフルな
星の欠片^{かけら}が 集まって
そっと照らした 明日の方角

秋田県立秋田高等学校 ● 加藤穂乃香

約束が果たされる時
笑顔咲く
幸福の花風に吹かれる

秋田県立秋田西高等学校 ● 滝澤美砂

上を向き歩いて行こうと
友が言う
濡れた大地に命が芽吹く

秋田県立横手高等学校 ● 高橋万葉

あの三月一度は無くした
道標^{みちしるべ}
かつての温み^{ぬく}が新たな支え

秋田県立横手高等学校 ● 堅持夏美

諦めず
一歩一歩とふみしめて
見据える先は明るい未来

秋田県立横手高等学校 ● 白賀仁智

「頑張れ」は無責任だし
「負けるな」はなんだか暗い
だから「生きろよ」

秋田県立能代高等学校 ● 中村颯音

「何できる?」と言われて顔は青ざめる
それでも、そばにいたいよ
あなたの

秋田県立能代高等学校 ● 小泉裕寿

今一つ日本団結ガレキイヤ
見ていただけなの
カタルシス

秋田県立能代高等学校 ● 小沢龍馬

愛してた ものは帰ってこない
けど

今あるものを 愛していたい

秋田県立能代高等学校 ● 村岡雄人

壊こわされてしまったままの手鏡てかがみの
かけらに映うつる
未来みらいは輝かがやく

秋田県立能代高等学校 ● 杉山 葵

〈岩手県〉

いつだって

昔と同じ風が吹く

進むと決めたあなたの背中

岩手県立盛岡第一高等学校 ● 兼平優希

僕は泣く

あなたも泣いて君も泣く

笑って戻した大粒の夢

岩手県立盛岡第一高等学校 ● 谷村康太

また海が戻ってきたと宮古から
手紙を添えて
新巻鮭が

岩手県立盛岡第二高等学校 ● 山影安里紗

真つ黒な 地上に
一点 ろうそくの 小さな光
心安らぐ

岩手県立盛岡第二高等学校 ● 堂前 咲

復興を願う火
目蓋に閉じこめて
戻る時間は 過去ではあらず

岩手県立盛岡第二高等学校 ● 三河茉友子

「復興」を掲げ被災地 駆け巡る
挫けぬ人の
その強さ知る

岩手県立盛岡第二高等学校 ● 佐久山寛子

ハルジオン 黒き荒れ地に
色づきて
ご覧吾が子よ これが「春」だよ

岩手県立盛岡第二高等学校 ● 平山由里

んだらばき、おらとおめえでがんばっぺ
諦めねえす
諦めねえす

岩手県立盛岡第二高等学校 ● 伊藤理良

一つまた 小道に種を 植えようか
次へと続く
新しい芽を

岩手県立盛岡第二高等学校 ● 野中佑恵

想い出を
なくしかけてた 僕たちは
迎えにいくよ 明日の光を

岩手県立盛岡第三高等学校 ● 藤原可奈子

荒地にも根をはり
花は生きて咲く
血潮の飛沫を花卉に添えて

岩手県立盛岡第三高等学校 ● 高橋真梨

降り積もる
冷たい雪に手を伸ばし
ただ きれいだと感じられる日

岩手県立盛岡第三高等学校 ● 大城美樹

前を見て 光の下へ 進みゆく
振り向き見れば
続く足跡

岩手県立盛岡第三高等学校 ● 佐藤理奈

一筋の 光の線が のびている
雲の切れ目に
何が見えるか

岩手県立盛岡第三高等学校 ● 小笠原美月

三陸の 美しき浜 いつかまた
皆幸せに
眺む日待つ

岩手県立盛岡第四高等学校 ● 菅野景太

あの日から
もう何日と 数えつつ
思い出すのは なつかしい街

岩手県立盛岡第四高等学校 ● 村松花恵

前向きに 希望と努力を 捨てないで
一歩ずつでも
明るい未来

岩手県立盛岡第四高等学校 ● 盛田鈴江

見てるしか 出来ない私
それならば
せめてこの年 忘れずにいよう

岩手県立盛岡第四高等学校 ● 錠前沙帆

沿岸を
見に行った後 そのことを
忘れないぞと心に誓う

岩手県立盛岡第四高等学校 ● 大山慎也

灰色の中に
すっきりと立つ奇跡
誰の意味かは わからぬけれど

岩手県立盛岡第四高等学校 ● 清藤和久

震災の直後に咲いた桜たち
あれから一年
町を見つめる

岩手県立盛岡工業高等学校 ● 佐々木智

あの時に
歪んでいった 道だけど
奇跡のように 無事な道あり

岩手県立盛岡工業高等学校 ● 佐藤祐介

震災で
失った物は数知れず
深い絆で復興目指す

岩手県立盛岡工業高等学校 ● 石川 康

喪失は
時に望みを奪い取り
時に未来へのバネと変化す

岩手県立沼宮内高等学校 ● 千葉友理杏

その一歩
大きな涙色かなしみ乗り越えて
えがお溢れる ああつらの住処とこへ

岩手県立沼宮内高等学校 ● 澤口彩乃

強く咲く
瓦礫の下の花のごと
君の輝く笑顔が見たい

岩手県立沼宮内高等学校 ● 四日市沙耶

少しずつ
色付く町に希望のせ
よみがえらせる笑顔と共に

岩手県立花巻南高等学校 ● 高橋佑花

悲しみに暮れたときには
空を見て
幾多の光が心を照らす

岩手県立北上翔南高等学校 ● 小松代佳奈

一瞬で

すべて流れた三月の
残った大地に芽吹く草花

岩手県立水沢商業高等学校 ● 千田耕平

震災の

記憶が重くのしかかる
泣いてしまえば楽になるのに

岩手県立水沢商業高等学校 ● 佐藤絢香

三月十一日

その日の月は 堂々と
何もできない 私を照らす

岩手県立水沢商業高等学校 ● 菊地圭市

〈宮城県〉

今もなお 終わらぬ再生 道遠く
あの日の街を
胸に描きて

宮城県宮城第一高等学校 ● 江刺陽名子

地図の上

荒れ地ばかりが並べども
人の息吹は確かにあめり

宮城県宮城第一高等学校 ● 佐藤大地

灯り消え
闇に覆われ 黙る町
輝く星は希望の座標

宮城県宮城第一高等学校 ● 芦田桂樹

流された 過去の記憶は
三月の
風に運ばれ 浜辺に芽吹く

宮城県宮城第一高等学校 ● 鈴木春奈

乗り越えて 絆を深め 生きてきた
これから先も
苦難を越えて

宮城県名取高等学校 ● 鎌田理沙

崩れてもまた積み重ね立ちあがる
地を踏みしめて
目指すは未来

宮城県名取高等学校 ● 林 汀

何もかもさらってしまったあの日から
強くなったね
心も街も

宮城県名取高等学校 ● 寺井陽子

再生に 力をそそぐ 我が父へ
貴方へ送る
山茶花さんぢかの花

宮城県名取高等学校 ● 岩佐風美香

暗い町 あの時知った 感動は
電気いらすの
満天の星

宮城県名取高等学校 ● 坂上優貴

あの時は大変だったと笑いあう
普通の幸せ
噛み締めながら

宮城県名取高等学校 ● 千葉咲耶加

彼^かの日より
人の心は風がねども
今年も巣立つ軒つばくらめ

仙台白百合学園高等学校 ● 八木千帆

何も言わず旅に出てったモアイ像
大きく一歩
帰途に就かんと

仙台白百合学園高等学校 ● 千葉彩加

負けないで 進んでいこう
前を見て
その先にある 笑顔探しに

宮城県涌谷高等学校 ● 柳渕穂乃香

被災して
希望失い 立ちつくす
復興の光 みんなの笑顔

宮城県涌谷高等学校 ● 佐々木美季

終わらない 僕らの証
永遠に
若葉とともに 生き続けてる

宮城県涌谷高等学校 ● 高橋日和

愛故に人は苦しまねばならぬ
愛故に
悲しまねばならぬ

宮城県小牛田農林高等学校 ● 及川雄輝

被災地の
空を彩る シャボン玉
風風吹くな 遠くまで飛べ

宮城県小牛田農林高等学校 ● 及川賢太

自分だけと
孤独を感じる日常に
テレビを見れば もうひとりの自分

宮城県小牛田農林高等学校 ● 安田佳樹

掌に
明日の光を掴みとる
大空めがけて負けないと叫ぶ

宮城県小牛田農林高等学校 ● 山崎健幸

青空を
眺めていられる暇もない
頬杖ついて黒板眺める

宮城県小牛田農林高等学校 ● 岡田 優

辛いなら 泣いてもいいと

君は言う

涙の向こうに あるものもあると

宮城県小牛田農林高等学校 ● 伊藤 巴

俯うつむいて

土に呟く馬鹿野郎

それでもあった小さな希望

宮城県小牛田農林高等学校 ● 佐藤夏実

あの日から 再び作った

この景色

それは努力と 進んだ証

宮城県小牛田農林高等学校 ● 下津亜梨菜

再生の

礎となること願ひ

夜空に咲いた億万の花

宮城県石巻高等学校 ● 渡邊千明

海眺め

あなたのことを思い出す

ずっと共に生きていくよ

宮城県石巻高等学校 ● 石川未歩

忘れない

オリオンの灯ひの 美しさ

あの子の輝ひかりは いつも心に

宮城県石巻高等学校 ● 畠山ひかる

埋めること
できない傷も 少しずつ
溶かせるようにと エールを送る

山形市立商業高等学校 ● 櫻井奈々

偽善かも しれないけれど 募金する
きつと復興ちからに
なると信じて

山形市立商業高等学校 ● 皆本悠里

顔上げて
天を仰げば 雲は無く
前へ進めと 照る太陽

山形市立商業高等学校 ● 田中寿幸

あの日まいた
涙と汗で 育ったね
このごろやつと 芽が出たところ

山形県立長井高等学校 ● 横山夏帆

降りそそぐ 霰の中で
春を待つ
来るあたたかさ とけだす心

山形県立長井高等学校 ● 佐藤 舞

荒れた地に
伸びるは生命いのちの緑たち
咲くは汗水 こぼれるは笑み

山形県立長井高等学校 ● 馬場 遥

目を閉じて
あの日の君の ぬくもりと
今の笑顔を 忘れぬように

山形県立長井高等学校 ● 海老名 繩子

手をつなぎ

君の隣に よりそおう
悲しみわかち 忘れぬように

山形県立長井高等学校 ● 長岡陽香

希望の芽

育てて伸ばせどこまでも
空の向こうのあの人のもとへ

山形県立長井高等学校 ● 大滝磨奈

〈福島県〉

仲間との絆は切れない
そう信じた
だから今はただ待ち続けるんだ

福島県立葵高等学校 ● 鈴木菜々海

失われた過去の郷里^{ふるさと}
取り戻せ
愛と希望と手と手つないで

福島県立葵高等学校 ● 伊藤ななみ

モノクロの 私の命 色づいた
何かをしたい
希望が輝る

福島県立葵高等学校 ● 渡部世来

できるなら
みんな幸せだといいな
甘すぎるけど本心なんだ

福島県立葵高等学校 ● 菅家美樹

〈茨城県〉

震災の傷を抱いて歩き出す
太陽の下に
輝く笑顔

茨城県立下館第一高等学校 ● 池田真澄

二回目の夏が来ている東北を
写すテレビに
誰かの笑顔

茨城県立下館第一高等学校 ● 平入麻衣

苦しくて 泣いてしまう日もあるけれど
瓦礫の下から
生まれる向日葵

茨城県立下館第一高等学校 ● 野寺千歩

被災地の復旧のため汗流す
ボランティアの顔
自衛隊の顔

茨城県立結城第二高等学校 ● 大塚麻耶

今こそがひとつになるとき
がんばろう
ガレキの山を崩していこう

茨城県立結城第二高等学校 ● 磯 茉耶

世界から
地球の裏から世界から
届く支援のあたたかさかな

茨城県立結城第二高等学校 ● 高橋映美

少しでも 明日ひかりに向かって
歩いていこう

見えない影を恐れずゆつくりと

茨城県立竹園高等学校 ● 根本智美

辛い過去 先も見えずに
進む今 見つける光は
明日あすのあなたに

茨城県立竹園高等学校 ● 佐藤 匠

手の平の小さき命に祈りこめ
大地にたくす
明日への光

茨城県立竹園高等学校 ● 早川 唯

見渡せよ
引いては満ちる 永久とわの海
水面みなもに光るは 希望のかけら

茨城県立竹園高等学校 ● 官部美月

支え合おう
お互い様の 精神で
明るい僕らの 明日を信じて

茨城県立竹園高等学校 ● 佐々木悠子

荒波に 吞まれずに立つ
日本松

茨城県立竹園高等学校 ● 山崎陽平

あけぼのの陽に 影をたたえる

君が出す 一円玉が 被災地の
人々救う
気持ちから

茨城県立竹園高等学校 ● 丸尾愛美

あの日から
壊れた時計は今も尚
忘れてなるかと時を止め

水戸葵陵高等学校 ● 原田千晶

北に向
こぶし突き上げ 名を叫ぶ
一人ではない 立ち上がれ友よ

水戸葵陵高等学校 ● 永井雄馬

悲しみの 暗い海に
くじけずに
今日も僕らは 笑顔で歩く

水戸葵陵高等学校 ● 岩間健太

〈栃木県〉

震災後 古池で泳ぐ あひるの子
光りの中で
人が見守る

矢板中央高等学校 ● 高橋 葉

荒涼の土地に
芽吹きし心の輪
強く生きる若き力

矢板中央高等学校 ● 池田夢乃

震災のあとだからこそ
前を向く
これから築く新たな未来

矢板中央高等学校 ● 植竹真衣子

〈群馬県〉

積み上げた 物のすべてが
瓦礫じゃない
未来へ繋がる 大きな教科書

群馬県立館林高等学校 ● 後藤亮太

ここからだ 見せてやろうぜ
世界にさ
我ら日本の 団結力を

群馬県立館林高等学校 ● 木村淳朗

復興を 願う人々
数多し^{かずおほ}
思うようには 進まぬ現状

群馬県立館林高等学校 ● 吉田勇輝

震災の
爪跡深い被災地が
いつか絆の震源となれ

群馬県立太田高等学校 ● 小林拓未

震災後 一年たつても
変わらない
瓦礫の山と ガンバル心

東野高等学校 ● 村田真哉

おおつなみ
大津波
つめあとのこ
爪跡残る キジの国 一本松よ
えいえん
永遠であれ

東野高等学校 ● 岩渕花月

きょう
今日もまた電気を消したこの部屋を
て
照らす灯火
うちわ
団扇で揺れる

東野高等学校 ● 木本伸之

ぜつぼう
絶望に包まれてても
だいじょうぶ
大丈夫
て
手を取り合えば希望に変わる

東野高等学校 ● 大澤 優

きらめいた
少女の決意胸にしみ
私も進もう 復興の道

東野高等学校 ● 吉川冬実

「がんばって」
かけ声一つで頑張れる
地震なんかに負けない心

東野高等学校 ● 森田昌紀

ひとびと みどり ぼうし
人々と緑の帽子
てと
手を取って
むかし まち
昔の町にもどす努力を
どりよく

東野高等学校 ● 岡崎精一

今もまだ 残る傷痕 東北の
絆創膏に
僕は成りたい

東野高等学校 ● 沼倉弘樹

生まれ落ちともに歩んだ君の住む
清き流れに
しらん
紫蘭の花を

大宮開成中学・高等学校 ● 石岡結衣

個の力
ひとつひとつは弱くても
寄れば「きょうりよく」より良い未来へ

大宮開成中学・高等学校 ● 種崎智貴

エアコンで涼みニュースを
嘆くより
Let's
観光 目指せ東北!!

大宮開成中学・高等学校 ● 岡田海樹

クーラーは
体を冷やしてくれるけど
窓をあければ耳も涼しい

大宮開成中学・高等学校 ● 駒田涼子

肩並べ 星空見上げた 河川敷
君のとなりに
十年先も

大宮開成中学・高等学校 ● 大植千鶴

人いない 部屋に明かりが 灯ともってる
ボタン一つで
無駄がなくなる

大宮開成中学・高等学校 ● 海野雅大

彼の地にと ありし面影 思い馳す
今は今よと
思いながらも

聖望学園高等学校 ● 高橋悠輝

大丈夫
夜は必ず明けるから
新しい日々を生きていかなきゃ

聖望学園高等学校 ● 橋本由香莉

雪ゆきの下した
小さな種たねが 待ちわびる
曙あけぼのむか迎える その日ひその時とき

聖望学園高等学校 ● 佐藤彩夏

募金した後の財布は軽くとも
胸温かく
足取り弾み

星野高等学校 ● 須藤瑤子

あの日から
壊れたものどできたもの
失くすばかりの嘆きを終える

星野高等学校 ● 西川湧希

日本中 一つになれば
まだいける！
力の限り 走り続けろ！

星野高等学校 ● 森口加奈子

〈神奈川県〉

避難所の住宅できて
自立して復興進めよ
原発地域

横浜高等学校 ● 河野 至

悲しみの 中から生まれる
笑顔から 未来の希望
力にかえて

横浜高等学校 ● 濱谷圭佑

大地揺れ 日本中の
心揺れ さし伸ばされる
救済の手

横浜高等学校 ● 増田建太

〈山梨県〉

ワイドショー映すグラフの頂端は
一年という 時間
時間の強さ

山梨県立甲府南高等学校 ● 舛谷万象

現実の
壁の高さを仰いでも
同じ夜空に輝くスピカ

山梨県立甲府南高等学校 ● 杉本昌義

少しずつ奥羽^{せぼね}は治り立ち上がる
大きな羽よ
さあ空を翔べ

山梨県立甲府南高等学校 ● 野澤彩葉

〈福井県〉
今はまだ 飲み下せない
苦しみを 抱えて今日も
一歩踏み出す

福井県立武生高等学校 ● 小島奈津子

たくさんの苦勞をしたと思います
耐えて下さり
感謝感謝です

福井県立武生高等学校 ● 上良智子

希望を持って 前だけを見る
一つになりて 現在^{いま}を乗りこえ
そして未来へ

福井県立武生高等学校 ● 牧野 巧

〈岐阜県〉
被災地で
強く生きる人々に
私のエール届くだろうか

岐阜県飛騨神岡高等学校 ● 宮本奈実

止まってる瓦礫の中の思い出が
静かに光り
朝を迎える

岐阜県飛騨神岡高等学校 ● 川上まなみ

大地震の津波に勝った一本松
子等は育ちて
未来へ伸びる

岐阜県飛騨神岡高等学校 ● 中田璃子

〈三重県〉

結ばれた絆と絆固きまま
互いを支え
未来へ進もう

鈴鹿工業高等専門学校 ● 上山みゆ

助け合い
持ちつ持たれつ お互い様
人思うに 距離はないもの

鈴鹿工業高等専門学校 ● 窪田有沙

東より 朝日は昇る
今はまだ
夜明けを待ちて 体休めて

鈴鹿工業高等専門学校 ● 中村颯希

「良かったな」
交通網を駆け抜けて
見えない顔に伝わる電波

鈴鹿工業高等専門学校 ● 山口健太郎

一つづつ

私たちの 当たり前 届けていけば
よりよい東北

鈴鹿工業高等専門学校 ● 藤川良祐

日が昇り疲れた頃には日が沈む
休めば何時か
また日が昇る

鈴鹿工業高等専門学校 ● 山下浩明

〈大阪府〉

よが明けて
朝を見るのは 一人でも
せには仲間の 手のあつき知る

大阪府立槻の木高等学校 ● 吉川佳奈絵

空見上げ

あの場所のこと 思いはせ
咲いてるといいな 『スノードロップ』

大阪府立槻の木高等学校 ● 山本佳奈

できること
すこしだけしかなくたって 力になりたい
一緒に進もう

大阪府立槻の木高等学校 ● 高田美波

非常時も 他者を想える 日本人
その意識こそ
復興の糧

大阪府立槻の木高等学校 ● 伊藤 椋

いつの日か
心の笑顔 取り戻し
美しい日本を もう一度

大阪府立槻の木高等学校 ● 上原真紀子

松ノ木の 倒れぬ力
あたたかい
人の絆が 未来を作る

大阪府立槻の木高等学校 ● 守屋綾乃

〈広島県〉

政治家の 動きを待つより
自らが 一足先に
復興支援

広島県立油木高等学校 ● 迫由莉菜

雨あがり
空には希望の 橋架かり
地には懸命に 咲く一輪花

広島県立油木高等学校 ● 川崎有希

絆の字
みんなが意識し みつめた字
見えない絆も みつめた年

広島県立油木高等学校 ● 矢吹佳得

桜咲く
震災遭っても 見る顔は
自然とほころび 笑顔花咲く

広島県立油木高等学校 ● 上 実里

しんさいご

それでもかぜは ふいている
いのちのいぶき かんじさせて

広島県立油木高等学校 ● 高山奈々

空高く 緑濃くなれ 草のびろ

息をしながら
一歩踏み出す

広島県立油木高等学校 ● 宮崎紗世

〈愛媛県〉

僕は西 君は東でそれぞれが
いまこの瞬間に
いまできること

愛媛県立伊予高等学校 ● 大濱侑真

殺風景

笑み流れども ただひとつ
心だけは ここにありけり

愛媛県立伊予高等学校 ● 綱島楓人

地を揺らし

建物揺らす 大震災
人の心も 揺らす地震

愛媛県立伊予高等学校 ● 渡部将輝

〈福岡県〉

君の名を
呼べば呼ぶほど愛しくて
あの時のこと忘れはしない

福岡県立須恵高等学校 ● 荒津千尋

少しずつ歩けているよ
大丈夫
がんばる姿形になって

福岡県立須恵高等学校 ● 久米千咲紀

道際の一つ寂しく咲く花も
精一杯に
生きようとする

福岡県立須恵高等学校 ● 戸川 力

何もかも失われたと思えたが
優しさだけは
ここに残った

福岡県立筑紫丘高等学校 ● 玉田佳穂

前を向け
なんて絶対 言えないよ
だけどお願い 笑ってください

福岡県立筑紫丘高等学校 ● 薄田真歩

日が暮れて 影はさしたが
茜さす 日はまたのぼる
がんばれ東北

福岡県立筑紫丘高等学校 ● 八尾竣介

暗闇の果てに
恐れず手を伸ばせ
それこそヒトの強さであると

福岡県立筑紫丘高等学校 ● 大浦万弥

東北の 街行く人の
まぶしさよ

心の悲しみ 目そらし笑う

福岡県立筑紫丘高等学校 ● 矢野壮馬

人々が 創り育てた この国を

愛し変えよう

未来のために

福岡県立筑紫丘高等学校 ● 徳勝有紀



石川啄木没後百年記念
第7回全国高校生短歌大会
短歌甲子園 2012

東日本大震災 復興応援短歌集Ⅱ

平成24年8月24日発行

発行 全国高校生短歌大会実行委員会

〒02018530

岩手県盛岡市内丸12-2

盛岡市ブランド推進課

電話0191651141

編集 おもてなしプラザ運営協議会

デザイン 田村晴樹

印刷 永代印刷株式会社

